

「戦争法の廃止を求める統一署名」

2000 万人到達をめざそう！宗教者緊急アピール

2015 年 12 月 宗教者九条の和

2015年9月19日、安倍自公政権は、横暴の限りを尽くし、憲法違反の戦争法（安全保障関連法）を強行「成立」させました。

何よりこの法律は、これまでの憲法解釈では、けっして許されることのなかった集団的自衛権行使を可能にし、この法律によって戦闘地域に派遣される自衛隊員は、必ず戦闘に巻き込まれ、その任務の一部として該当地域の住民、とくに女性や子供、さまざまな弱い立場の人たちの命と安全を奪うことになるでしょう。また自衛隊員自身も命の危険にさらされることになるでしょう。殺し殺される戦闘行為は、さらなる暴力と憎しみの連鎖を生み出すだけです。

戦争法の成立は、まさに「いのち」と「人間の尊厳」にかかわる重大事です。私たち宗教者はこの重大事を見過ごすわけにはいきません。

現在、戦争法の廃止を求め、2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」が、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の呼びかけのもとで行われています。期日は2016年5月3日憲法記念日までです。それまでに、なんとしてでも2000 万人以上の署名を集めきらなければなりません。

「宗教者9条の和」も、この取り組みに心からご賛同申し上げ、すべての宗教者の皆様に、2000万署名運動への積極的なご参加とご協力をお呼びかけいたします。

戦後最大の平和の危機に直面しています今日、私たちの祈りと行動で、2000万署名運動を成功させ、憲法9条を守り抜いてまいりましょう。